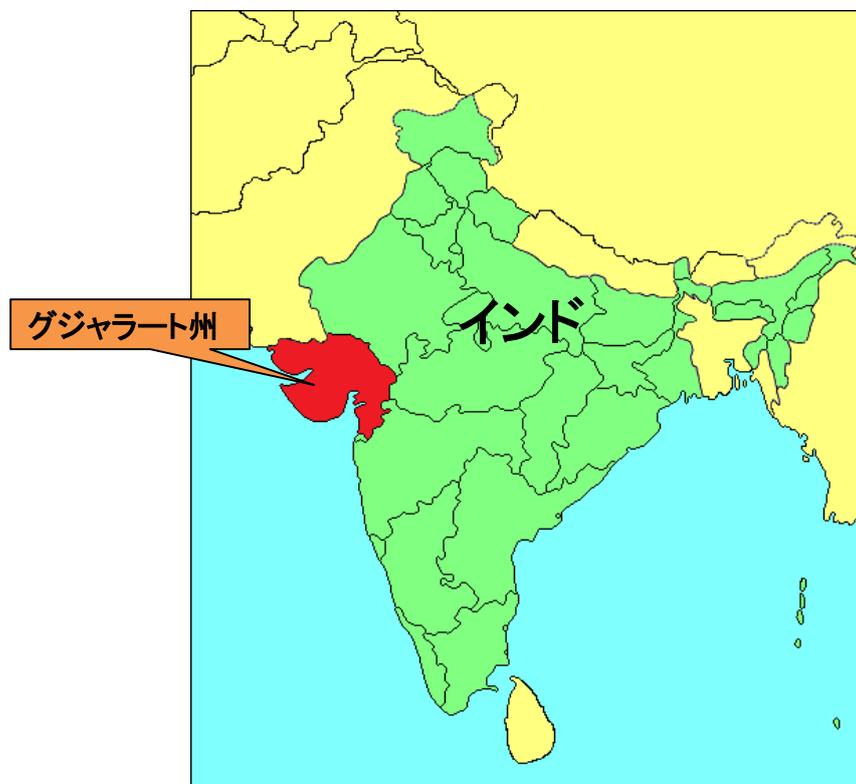


インドでクリミア・コンゴ出血熱が発生

2012年7月22日 ProMED 情報 (The Time of India, Ahmedabad)



グジャラート Gujarat 州で、18名のクリミア・コンゴ出血熱患者が報告され、7名が死亡しました。クリミア・コンゴ出血熱は、ダニに咬まれた後、1～3日の潜伏期を経て風邪様症状が出現しますが、1週間ほどで改善します。しかし、適切な治療をしなければ、発症3～5日後には75%以上の患者が出血症状を起こしてきます。初期の症状として、情緒不安、興奮、精神錯乱があります。その他に鼻血、血尿、血便がみられます。

〔ProMED 調整者〕

クリミア・コンゴ出血熱は、アフリカ、ヨーロッパ、アジアの多くの国で見られます。インド北部は、ウイルスの存在が確認されており、おそらく風土病になっています。死亡率は約30%で、死亡は発症第2週に発生します。ウイルスは、さまざまな家畜や野生の動物に広く存在し、感染したダニに咬まれて動物は感染します。抗ウイルス薬 リバビリンに治療効果があります。有効なワクチンはありません。